

ノーマイカーデーひろしま2007の実施結果



ノーマイカーデーひろしま実行委員会

2007年度の主な取組

1 広報活動

ポスター、チラシなどの配布

2 意識啓発活動

イベントでの啓発

セミナーの開催

環境学習

3 実践促進策の展開

割引1日乗車券の販売

臨時便の運行

4 推進キャンペーンの実施

11月に推進キャンペーンを実施

今年度のマイカー乗るまあデーは 18 日間

広島市では、地球温暖化防止につながる行動の輪を広げるため、2005年度からノーマイカーデー運動に取り組んでいます。

2006年7月から毎月22日を「マイカー乗るまあデー」と定め、一人ひとりが交通や環境問題を考え、できる範囲でクルマの利用を控えて徒歩や自転車、公共交通機関を利用するなど、環境にやさしい交通行動をとるよう、広く呼びかけています。

2007年11月には、マイカー乗るまあデーを19日(月)~25日(日)の7日間に拡大して推進キャンペーンを実施しました。

この取組の周知を図るため、ポスター、チラシを掲示・配布したほか、広報番組等で呼びかけるなど様々な方法でPRしました。

また、マイカー乗るまあデーには割引1日乗車券の販売(広島電鉄、アストラムライン)や臨時便の運行(アストラムライン)により、環境にやさしい交通行動の実践をサポートしました。



▲PRポスター



▲割引1日乗車券

セミナーや環境学習による意識啓発

マイカー乗るまあデーの取組を広く理解してもらうため、環境の日ひろしま大会(6/2,3)、道路ふれあいフェスタ(8/10)、ひろしまバスまつり(9/24)の関連イベントでパネル展示や環境クイズを行いました。ひろしまバスまつりでは、広島環境サポーターネットワークによるリサイクル工作コーナーも設置し、大盛況となりました。



▲イベントでのパネル展示



▲セミナーのチラシ

中国運輸局と共催した「ひと・環境にやさしい公共交通の利用促進」セミナーでは、大阪大学大学院松村准教授の基調講演をはじめとして「公共交通」の利用を促す具体的な方策を紹介しました。

来年度に本格稼働予定の常設型WEBサイト「マイカー乗るまあデーくらぶ」の試験運営を実施中です。(2008年3月末まで)



▲マイカー乗るまあデーくらぶ
<http://www.noruma-day.jp/>

「交通と環境」をテーマにした環境学習に五日市観音小学校をモデル校として取り組みを開始しました。

(詳細は最終ページ参照)

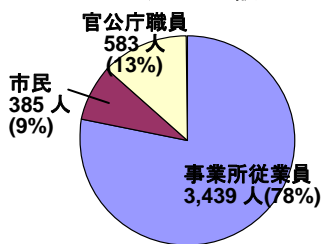
39トンのCO₂排出量を削減！

11月はマイカー乗るまあデーを19日(月)～25日(日)の7日間に拡大し、推進キャンペーンを実施しました。

市内事業所の従業員や市民の方を対象に、環境に優しい交通行動を率先して実践していただくモニターを募集し、約4,400人の方に登録していただきました。

期間中にモニターの方が、クルマの利用を控えた結果、二酸化炭素(CO₂)排出量が約39トン削減されました。これは、約173畝(杉14.4万本)の森林が1週間に吸収するCO₂量に相当します。

▼モニターの内訳

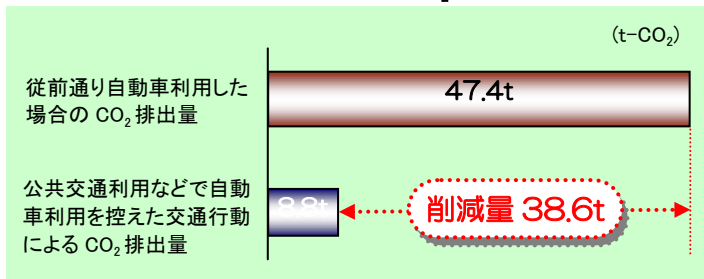


また、これは約25万^{キロ}(地球約6周分)の自動車利用を控えたことに相当し、約2万5千^{リットル}(約380万円)のガソリンを節約したことになります。モニター1人当たりでは、864円節約したことになります。

平均速度 26km/h
平均燃費 10km/ℓ
ガソリン 150円/ℓ

比治山公園6個分に相当
杉1本の年間CO₂吸収量 14kg-CO₂/年(268g-CO₂/週)
杉1本の占有面積 12㎡/本

▼キャンペーン期間中のCO₂排出削減量

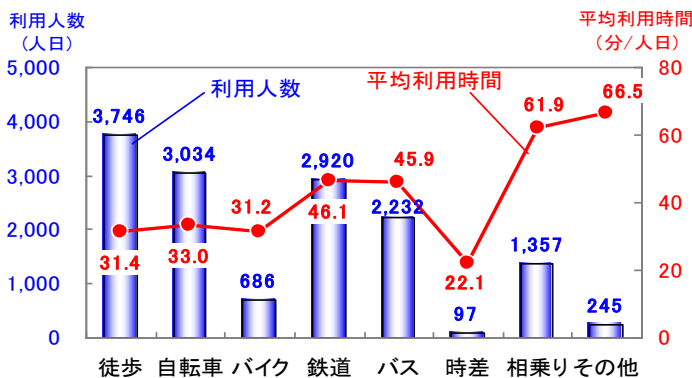


▼実践人数及び自動車利用抑制時間

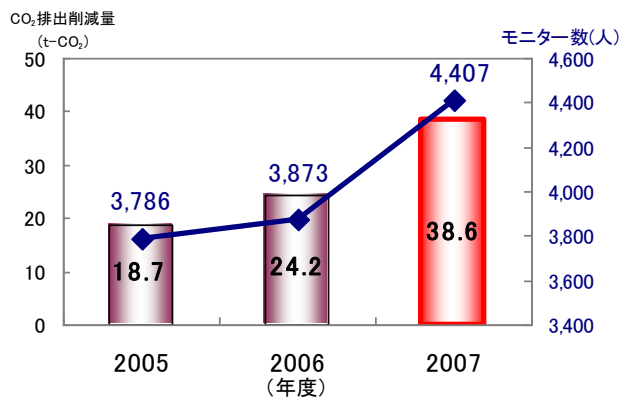
モニター登録人数	4,407人
キャンペーン期間に環境にやさしい交通行動を実践したのべ人数	10,727人
キャンペーン期間に自動車利用を控えた総時間	9,758時間

このキャンペーンは、今年で3年目となり、毎年実施期間なども異なるため単純に比較することはできませんが、モニター数の増加に合わせて、CO₂排出削減量を着実に伸ばしています。

▼代替交通手段別の利用人数及び平均利用時間



▼年度別CO₂排出削減量とモニター数の推移



■たくさんの事業所の方に参加いただきました(参加いただいた96事業所のうち、名称掲載の了承を得た事業所のみ掲載しています) 順不同

株式会社アフィス、株式会社荒谷建設コンサルタント、医療法人社団一陽会原田病院、株式会社エヌエイチケアイテック広島支社、エヌ・ティ・ティ・コムウェア西日本株式会社中国支店、株式会社NTT西日本中国、株式会社エネルギー・エコ・マテリア、株式会社エネルギー介護サービス、株式会社エネルギー・コミュニケーションズ、株式会社エネルギー人材ソリューション、株式会社エネルギー・ソリューション・アンド・サービス、株式会社エネルギー・ビジネスサービス、株式会社エネルギー・ロジスティクス、エムイーシーエンジニアリングサービス株式会社、株式会社可部自動車学校、株式会社協和エクシオ中国支店、株式会社鴻治組、株式会社国際規格審査センター、三機工業株式会社中国支店、産興株式会社、山陽工業株式会社、株式会社島屋、株式会社ジュンテンドー営業本部、株式会社シンコー、ホテルセンチュリー21広島、株式会社ソルコム、株式会社損害保険ジャパン、中国エンジニアリングサービス株式会社、中国企業株式会社、中国計器工業株式会社、中国高圧コンクリート工業株式会社、中国電機製造株式会社、中国電力株式会社、中電環境テクノス株式会社、中電技術コンサルタント株式会社、株式会社中電工、中電工業株式会社、中電プラント株式会社、テンパール工業株式会社、株式会社東急ハンズ広島店、株式会社東芝中国支社、株式会社東洋クリーナー、東洋乳業株式会社、トステム株式会社観音新町事業所、飛鳥建設株式会社広島支店、西日本旅客鉄道株式会社広島支社、日鋼設計株式会社、日本コムシス株式会社中国支店、日本貨物鉄道株式会社広島車両所、日本銀行広島支店、日本通運株式会社広島ペリカンアロー支店、ハウスプラス中国住宅保障株式会社、株式会社パワー・エンジニアリング・アンド・トレーニングサービス、株式会社日立情報システムズ西日本支社、株式会社広工、広島ガス株式会社、広島ガスメイト株式会社、株式会社ひろしまケーブルテレビ、財団法人広島県環境保健協会、社会福祉法人広島県社会福祉協議会、財団法人広島原爆被爆者援護事業団、社団法人広島交響楽協会、広島工業大学専門学校、広島高速交通株式会社、社会福祉法人広島常光福祉会、広島電鉄株式会社、広島菱重興産株式会社、財団法人広島YMCA、総合病院福島生協病院、福山通運株式会社広島支店、株式会社福利厚生倶楽部中国、富士通株式会社中国営業本部、株式会社富士通ビジネスシステム中国支社、医療法人翠星会松田病院、株式会社マツダレンタカー、介護老人保健施設三滝ひまわり、株式会社三越広島店、三菱重工業株式会社中国支社、三菱重工業株式会社広島製作所、三菱電機株式会社中国支社、株式会社明光堂、明治乳業株式会社中国支店、株式会社ユアーズ、株式会社旅行線研広島営業所

約9割の人が「環境にやさしい交通行動」の継続を意識

モニターの方に、キャンペーンに参加した感想をお聞きしました。

環境にやさしい交通行動を実践することで、約5割の人が地球温暖化防止に貢献できたと感じています。

また、約9割の人がこうした取組に限らず今後も環境にやさしい交通行

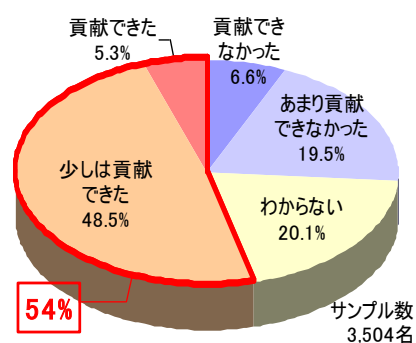
動の継続意思を示しています。

さらに、約8割の人がキャンペーン期間後も環境にやさしい交通行動を実践しています。

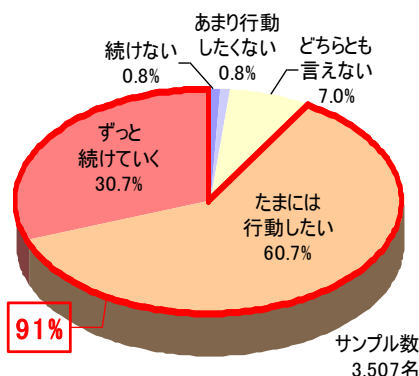
いずれの指標も昨年度を上回るものとなりました。

マイカー乗るまあデーは、「環境にやさしい交通行動」の実践を促す日で、この日をきっかけに意識を変えていただくことをねらいとしています。その意味でキャンペーンの実施により大きな効果あげることができました。

▼地球温暖化防止への貢献度に対する感想

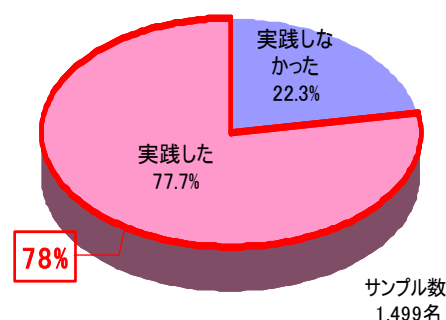


▼「環境にやさしい交通行動」の継続意思



▼キャンペーン期間後の実施状況

(WEBを通じた取組のモニターのみ)



様々な実践促進策を展開

環境にやさしい交通行動の実践促進策として、割引1日乗車券を販売(広島電鉄、アストラムライン)し、臨時便を運行(アストラムライン)しました。

また、市中心部の協賛店舗34店とタイアップし、割引1日乗車券またはモニター証を店舗で提示すると様々なサービスを受けることができる「お楽しみサービス」を実施しました。



▲モニター証

■お楽しみサービス協賛店舗(順不同)

㈱さだや、ひろしま国際ホテル館内レストラン(東風、芸州、まほらま、ル・トランブルー)、桃源、わかさや呉服店、広島お好み村(文ちゃん、かずちゃん、宮島、あとむ、源蔵、八昌、カーブ、さらしな、てっ平、厳島、かえるっ亭、ひろちゃん、新ちゃん、桃太郎、ちいちゃん、山ちゃん)、東呉服店、かずもとや呉服店、三宅洋服店(ミヤケ)、ダイニング暖厨、イタリアンダイニング Hermitage、橙 dai-dai、リシュラ Mama&Baby・Kids、リシュリシュ、炭焼雷並木店、炭焼雷新天地店、炭火天神

モニターとしてアンケートにお答えいただいた方には抽選で250名様にバスカード(パセオカード、アストラムカードを含む)、JR オレンジカード、お買い物券(アクア広島センター街・紙屋町シャレオ・そごう広島店・パセーラ)をプレゼントしました。

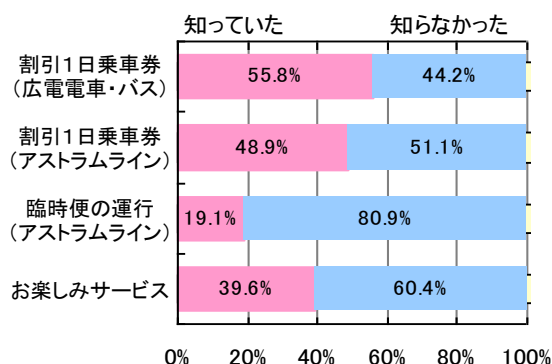
■モニター特典協賛企業(順不同)

西日本旅客鉄道㈱広島支社、広島電鉄㈱、広島高速交通㈱、広島バス㈱、広島交通㈱、中国ジェイアールバス㈱、備北交通㈱、芸陽バス㈱、エイチ・ディー西広島㈱、第一タクシー㈱、(有)エンゼルキャブ、アクア広島センター街、紙屋町シャレオ、そごう広島店、パセーラ

もっと多くの方の取組が必要です

キャンペーン期間中の公共交通機関の利用者数、自動車の交通量及び渋滞長を調査したところ、休日の公共交通機関利用者数は増加しましたが、交通量及び渋滞長については、マイカー乗るまあデーに期待される効果を得ることはできませんでした。

キャンペーンで実施した取組の認知度も十分とは言えず、こうした取組の周知も課題となっています。



▲キャンペーンで実施した取組の認知度

環境面や参加モニターの意識の面では一定の効果をあげることができましたが、渋滞緩和などの交通面での効果をあげていくためには、もっと多くの方の取組が必要です。





五日市観音小学校で環境学習を実施



水素自動車に触れてみよう

「交通と環境」をテーマにした環境学習の取組を始めました。この取組は、児童に環境にやさしい交通行動を意識付けるとともに、児童を通じて保護者にも同様の意識を持ってもらうことをねらいとしています。

児童は公共交通機関の体験乗車や交通すごろくゲームなどを通じて環境問題に関

心を持ち、自分たちが地域のために、地球のためにどう行動すべきなのかを考えることができました。

今年度、汎用性の高い実施マニュアルや教材の開発を進め、来年度以降、「交通と環境」学習カリキュラムを小学校の総合学習のなかで広く展開していく予定です。

※事業は、環境省のESTモデル事業推進費を活用して実施しました。



CNGバスの排気ガスは黒くない！（靴下を用いた実験）

●取組概要

カリキュラムのコンセプト	交通と地球環境をテーマにした体験・実践型の学習を通じて、環境問題に関心を持ち、環境に優しい行動がすすんでできるという態度を育てる。
実施時期	平成19年11月～平成20年2月
対象学年	5年生(3クラス、109人)
実施教科	総合的な学習の時間、道徳



「交通すごろく」ゲームを楽しむ子供たち

●「交通と環境」学習カリキュラム

1 導入	<ul style="list-style-type: none"> ○地球温暖化の現状としくみ・・・(1単位時間) 広島市の出前講座“地球温暖化について考えよう！”(広島市環境局) ○環境にやさしい新しいクルマ「水素自動車」って何？・・・(1単位時間) マツダ(株)技術研究所から講師を迎え「水素自動車」のしくみや環境への効果を学習
2 課題の認識	<ul style="list-style-type: none"> ○環境にやさしい乗り物は？・・・(1単位時間) 電車・バスは、クルマよりも環境にやさしいことを学習
3 体験・実践	<ul style="list-style-type: none"> ○電車の利用方法の学習・・・(1単位時間) 電車とバスの利用方法や乗車マナーを学習し、体験乗車の計画を立案 ○電車とバスの体験乗車(校外学習)・・・(3単位時間) 協力:広島電鉄株式会社、広島ガス株式会社 電車とバス(CNGバス)の体験乗車を行い、地域にある公共交通機関が身近な乗り物であることを実感するとともに、電車やバスのしくみやマナーについて学習 ○「交通すごろく」を使った授業・・・(2単位時間) 大阪大学大学院の松村准教授考案の「交通すごろく」ゲームを用いて、「社会的ジレンマ」の概念や「公共性」について学習 ○リサイクル工作・・・(2単位時間) 広島環境サポーターネットワークの出前講座“廃牛乳パックをリサイクルしてフリスビー作り”
4 保護者等への報告	<ul style="list-style-type: none"> ○学習のまとめ(ポスター作成)・・・(4単位時間) 「交通と環境」学習で分かったこと、気づいたことを整理して、ポスターを作成しPTCの際に保護者に見てもらう。ショッピングセンターや公共施設などの校外施設にも掲示

～ 地球のため、子供たちのため、私たちにできることがある... ～

◎ノーマイカーデーひろしま実行委員会

経済産業省中国経済産業局、国土交通省中国運輸局、国土交通省中国地方整備局、環境省中国四国地方環境事務所広島事務所、広島県、広島県警、広島市、西日本旅客鉄道(株)、広島電鉄(株)、広島高速交通(株)、(社)広島県バス協会、広島商工会議所、広島環境サポーターネットワーク

<http://www.city.hiroshima.jp/koutsuu/noruma-day/>

◎この資料についての問合せ先は、

広島市道路交通局

都市交通部公共交通計画担当

Tel.082(504)2384/Fax082(504)2426

E-mail koutsubu@city.hiroshima.jp